

施策評価シート(対象:H28年度実施施策)

H29年度評価

施策名	ごみの減量・リサイクルの推進			総合計画コード	421
部名	市民環境部	主管課名	資源リサイクル課	主管課部課コード	030400
関連部課名	—				

1. 施策概要

めざす 目的成果	ごみの減量及び再資源化の推進を図ることにより、循環型社会が構築されている。				
施策概要	ごみの減量・リサイクルの推進に関する情報や教室・講座を実施し、市民等に対して、3Rに関する意識啓発を推進する。また、資源物の地域リサイクル活動推進団体に対し、補助金を交付することにより、更なるリサイクルを推進する。				
個別計画 関連計画	計画名称	第5次朝霞市一般廃棄物処理基本計画	計画期間	H 26 年度	～ H 35 年度
		平成28年度朝霞市一般廃棄物処理実施計画		H 28 年度	～ H 28 年度
		朝霞市分別収集計画		H 26 年度	～ H 30 年度

2. 実施結果

H28年度の 施策の実施内容	【啓発事業】 ・小学生対象の3R啓発事業の開催 ・スーパーマーケット店頭における啓発活動の実施 ・クリーンセンターの施設見学 【地域リサイクル活動推進補助金交付】 ・資源物回収団体への補助金の交付 【リサイクルプラザにおける啓発事業等】 ・教室・講座及びイベント等の実施 ・市民から引き取った家具の補修及び展示販売・リサイクルプラザにおいて、教室・講座及びイベント等の事業を実施した(事業の開催日数:45日、参加者数:延べ670人)・市民から引き取った家具をリサイクルプラザのシルバー工房で補修し、展示販売を行った(展示点数550点、販売点数496点)。					
H28年度の 基本概念(コンセプト)の実施内容	安全・安心なまち	—				
	子育てがしやすいまち	小学生対象の3R啓発事業を行い、3Rに関する情報や意識啓発に努めた。				
	つながりのある元気なまち	—				
	自然・環境に恵まれたまち	3Rの推進を図ることにより、循環型社会の構築に努めた。				
総コスト (事業費+人件費)	単位:千円 (決算)	H28年度(見込)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
		18,579	—	—	—	—

指標名 (説明)		単位	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	前期基本計画目標 H32年度
			目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画
			実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)
①	市民1人当たりごみ排出量	g/日	603	597	592	586	580
	(説明) 限られた資源を有効に活用し、環境への負荷を低減させるため、ごみの減量化を目指す		580	—	—	—	—
②							
	(説明)			—	—	—	—

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	☐ A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている(5点) ☐ D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった(2点) ☒ B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている(4点) ☐ E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった(1点) ☐ C 目標・計画どおりに成果があがっている(3点)
	(説明) ・指標の市民1人当たりのごみ排出量の目標は達成でき、ごみの減量化を推進することができた。 ・市民で構成されたリサイクルプラザ企画運営協議会との協働による教室・講座などの啓発事業のほか、店頭啓発活動などにより、ごみの減量とリサイクルに関して多くの市民に啓発することができた。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	☒ A ニーズ及び解決すべき課題は大きく増加する方向にある ☐ D ニーズ及び解決すべき課題は減少する方向にある ☐ B ニーズ及び解決すべき課題は増加する方向にある ☐ E ニーズ及び解決すべき課題は大きく減少する方向にある ☐ C ニーズ及び解決すべき課題は現状と変わらない
	(説明) 循環型社会を構築するためには、市民や事業者の取組が重要なため、ごみの減量とリサイクルを推進しようとする意識の向上に資する施策の必要性が増加していく。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) ・可燃ごみの不燃ごみが混入したり、プラスチック資源ごみに生ごみや汚れているプラスチックごみが混入するなど、ごみの分別が不十分なごみの排出状況が見られる。また、外国人居住者のごみ分別が不十分な状況や収集日と違う日にごみを排出している状況が見られる。外国人居住者へのごみ排出ルールへの啓発や、市民・事業者・行政の三者による取組を推進し、3Rについての一層の啓発活動に努めていく必要がある。

4. 今後の展開方針〔部としての判断〕

施策の方向性	〔複数選択可〕 ☒ 重点化 ☒ 内容の見直し					
	(説明) ・市民・事業者が3Rに積極的に取り組めるよう、日常生活や事業活動における啓発活動に努めるとともに、リサイクルプラザを情報拠点として各種情報を発信する。 ・地域リサイクル活動推進団体への支援を充実し、市民による集団資源回収を推進する。					
行政と市民の役割分担	☐ I 行政の関与(役割)を拡大 ☒ II 行政・市民の関与(役割)バランスを維持 ☐ III 市民の関与(役割)を拡大					
	(説明) 施策目標の達成には、ごみの排出者の協力が不可欠なため、引き続き、市民・事業者・行政の三者が連携して、ごみの減量化・リサイクルに取り組む必要があり、行政は、ごみの減量化・再資源化施策の啓発活動に努めるものとし、現状の役割分担のバランスを維持していく。					
施策を構成する事務事業の次年度の方向性	事務事業名	総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性	H30に向けた 投入資源の方向性
		H27決算	H28決算見込			
	1					
	2					
	3					
	4					
	5					
	計(単位:千円)			—	—	—
	☒ 6事業以上の事務事業の位置付けがあるため、別紙に記載					
審議会等の第三者機関の評価(意見)	【廃棄物減量等推進審議会】・ごみ処理の処理過程を啓発することにより、市民へごみ減量・リサイクルの意識啓発を推進する必要がある。・ごみ分別(雑がみ)の区別を分かりやすく啓発していく必要がある。 【外部評価委員会】・家具のリサイクル販売については、ごみの減量を前提とした事業ではあるが、運営に多額の経費がかかっている状況である。販売に係る経費の分析を行い、公費により賄う部分と利用者が負担する部分を切り離して考える必要がある。(自然・環境に恵まれたまちに関する所見より抜粋)					
部長の意見	・ごみの減量化とリサイクルの推進に効果的な事業を重点的に行うこととし、事業に係る経費は、費用対効果を検証し、削減を図る。					

施策評価シート【別紙】施策を構成する事務事業の次年度の方向性

施策名	ごみの減量・リサイクルの推進			総合計画コード	421
部名	市民環境部	主管課名	資源リサイクル課	主管課部課コード	030400
関連部課名	—				

	事務事業名	総コスト(事業費＋人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性	H30に向けた 投入資源の方向性
		H27決算	H28決算見込			
	1 廃棄物減量等推進審議会運営事業	273	254	4	4	現状のまま
	2 ごみ減量・リサイクル推進啓発事業	855	376	4	4	現状のまま
	3 リサイクルプラザ管理事業	—	—	4	4	現状のまま
	4 リサイクルプラザ運営事業	—	—	4	4	現状のまま
	5 リサイクルショップ運営事業	—	—	4	3	現状のまま
	6 リサイクル家具類販売事業	—	—	3	4	現状のまま
	7 ごみ減量・リサイクル推進補助事業	10,274	13,050	4	4	現状のまま
	8 塵芥処理事務事業	4,835	4,899	3	3	現状のまま
	9 リサイクルプラザ施設改修事業	—	—	3	3	H28で休止・廃止・終了
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	31					
	32					
	33					
	34					
	35					
	36					
	37					
	38					
	39					
	40					
	41					
	42					
	43					
	44					
	45					
	計（単位:千円）	16,237	18,579	—	—	—

施策を
構成する
事務事業の
次年度の
方向性